

## (財) 自治体国際化協会 ロンドン事務所 マンスリートピック (2013 年 10 月)

### 【ブリストルが 2015 年の「欧州グリーン首都賞」を授賞 ～ 環境関連のイベント開催へ】

ステューブンスンの小説「宝島」にも登場する港町であるイングランド南西部の都市ブリストル市が、2013 年 6 月、2015 年の「欧州グリーン首都賞 (European Green Capital Award)」の授賞都市に選ばれた。「欧州グリーン首都賞」とは、環境面で高い水準を達成しており、将来の環境の改善と持続可能な発展に向けて尽力し、この分野で他の都市の模範となる欧州の都市を表彰する欧州委員会のプログラムである。2008 年にスウェーデンのストックホルムが 2010 年の「欧州グリーン首都賞」の授賞都市に選ばれたのが始まりであり、ブリストル市は、同賞を授賞した 6 つ目の都市となった。今回の授賞式は、2013 年の「欧州グリーン首都」に選ばれているフランスのナント市で実施された。

「欧州グリーン首都賞」への応募資格は、「欧州連合 (EU) 及び欧州経済領域 (European Economic Area) の加盟国、または EU の加盟候補国 (トルコ、マケドニア、モンテネグロ、セルビア、アイスランド) の人口 10 万人以上の都市」である<sup>1</sup>。審査は、欧州委員会、欧州議会、EU 地域委員会などの代表者 12 人から成る審査委員会が、「気候変動」、「交通」、「持続可能な土地利用を採り入れた都市の緑地」、「自然と生物多様性」、「大気の状態」、「音環境」、「廃棄物」、「水の消費」、「排水処理」、「環境関連のイノベーションと持続可能な雇用」、「環境管理」、「エネルギー」という 12 の分野について行う。今回は、ブリストル市のほか、ブリュッセル (ベルギー)、グラスゴー (英国)、リュブリャナ (スロベニア)、ダブリン (アイルランド)、ブイドゴシュチュ (ポーランド)、カウナス (リトアニア)、キュタヒヤ (トルコ) の計 8 都市が応募した。最終選考に残ったのは、ブリストル、ブリュッセル、グラスゴー、リュブリャナの 4 都市であった。

ブリストル市は、約 44 万人余の人口を抱え、イングランドで 6 番目、英国で 8 番目に大きい都市であり、基礎自治体と広域自治体の両方の機能を併せ持つ一層制の「ユニタリー (unitary)」である。同市では昨年 11 月、初の直接公選首長を選ぶ選挙が行われ、無所属のジョージ・ファーガソン氏が当選した。現政権の方針で昨年 5 月に、イングランドの 10 都市で直接公選首長制の導入の是非を問う住民投票が行われた際、ブリストル市は、これを可決した唯一の都市であった。

今回の「欧州グリーン首都賞」の審査では、ブリストル市の交通及びエネルギー分野での投資計画などが高く評価された。同市は、2015 年までに、交通の改善に約 4 億 3000 万ポンド、また 2020 年までにエネルギーの効率化と再生エネルギーに最高で約 2 億 6000 万ポ

<sup>1</sup> 人口 10 万人以上の都市がない国の場合、その国で人口が最大の都市が応募できる。

ンドの予算を投入することを計画している。同市は既に、交通及びエネルギー効率化の分野で環境技術に多大な投資を行うことにより、2005 年以降一貫して、経済成長と同時に二酸化炭素排出量の削減にも成功している。ブリストル市は、2020 年までに、二酸化炭素排出量を 2005 年比で 40%、2050 年までに 80%削減することを目標に掲げている。

加えて、ブリストル市は特に、グリーン経済 (green economy) <sup>2</sup>の推進において、欧州及び世界のその他の地域に先例を示そうとする努力が評価された。同市は、欧州における低炭素産業 (low carbon industry) <sup>3</sup>の中心地になるべく尽力しており、2030 年までに、低炭素産業及びクリエイティブ産業、デジタル産業で、新たに 17,000 の雇用を創出するという目標掲げている。また、ブリストル市は、交通・都市政策によって、近年、自転車利用者を倍増させることに成功しており、このことが、市内の大気の質の改善に貢献している。同市はさらに、2020 年までに、自転車利用者数を 2010 年比で 2 倍に増やすことを目指している。

ファーガソン・ブリストル市長は、「欧州グリーン首都賞」の授賞を受け、2015 年に、「変化の実験室 (Laboratory for Change)」をテーマに据えた様々な環境関連のイベントをブリストル市内で実施する計画であることを明らかにしている。同市長は、「2015 年、ブリストルは、環境関連のアイデアを試す『試験場』となる。イベントでは、ブリストルに恩恵をもたらすのみならず、願わくば、世界中の都市の模範となることができる先進的な手法が開発されるだろう」とコメントしている。

---

<sup>2</sup> 「グリーン経済」とは、自然環境の保全や再生可能エネルギーの利用などによって、環境保全と経済成長の両立、持続可能な社会の実現を目指す考え方である。

<sup>3</sup> 二酸化炭素排出量の削減に貢献する産業。風力発電、波力発電、二酸化炭素の回収・貯留、電気自動車、低炭素型航空燃料など様々な分野を含む。